

コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー 2020 Grand Prize Company/ Winner Company 選考プロセス

(1) 概要

東京証券取引所 第一部上場企業を対象とし、コーポレートガバナンスを用いて、中長期的に健全な成長を遂げるために、取締役会の改革を実践している企業、コーポレートガバナンス・コードを遵守し、CGSガイドラインを踏まえた取り組みを行う企業を表彰します。表彰社数:Winner Company を選定し(数社)、うち 1 社を Grand Prize Company として、選出し、公表します。表彰時期:毎年 1 回、表彰を行います。

(2) 実施内容

入賞各社は、いずれもコーポレートガバナンスを意識した経営を行い、自社を改革しながら、中長期の健全な成長を実現している企業と評価しました。

Grand Prize Company に選出されたキリンホールディングス株式会社について、審査委員長 齊藤惇氏(日本野球機構会長・プロ野球組織コミッショナー)は、「社長自らマイケル・ポーター教授に会い、彼の唱えるCSV、即ち積極的社会貢献を実践することによって企業の成長と財務的価値を拡大するというテーマに先頭に立って取り組んでいる。当社のコア技術である発酵バイオテクノロジーをベースとして(ヘルスサイエンス)、社会が求める価値を創造することによって社会に貢献するという企業目的を明確にし、その実践に当たって多様に富んだスキルの高い外部人材を経営に招き、透明性の高いガバナンス体制を構築している」と述べています。

Winner Company に選出された、株式会社 アドバンテストについて、審査委員の伊藤邦雄氏(一橋大学 CFO 教育研究センター長)は、「ガバナンスに対する取り組みが極めて真摯に実行されており、評価できる。取締役会では毎回 3-4 時間、社外も積極的に参加してフランクに活発な議論が行われている。取締役会の後押しで、はじめて中期計画で数字の目標値を定めることができたことに象徴されるように、経営トップも取締役会の価値を高く評価している。特に、同社が属する半導体製造装置業界は業績変動が大きいビジネスだが、同業界に特有のリスクや成長可能性を意識した資本コストの設定、それに基づく投資決定に工夫が凝らされている点が注目できる」と述べました。

同じく Winner Company のテルモ株式会社について、伊藤教授は、「同社では取締役会議長を会長が務めているが、社長経験者が会長として議長となる従来パターンとは異なる点に特徴の一つがある。社長が決まった後に指名委員会が、新社長との相性をみて会長を選ぶというプロセスを取っている。前社長はそのまま会長にならずに退任しており、自律的ガバナンスが効いている証左といえる。指名委員会、報酬委員会以外にガバナンス委員会を設置し、自由にガバナンスのテーマを議論しており、ガバナンスの向上に向けて持続的努力をしている」と高く評価しています。

審査のポイントは、1)コーポレートガバナンス・コード全原則が適用される東証1部上場企業(2,172社、2020年8月1日現在)の中から、2018年～2020年を通じて社外取締役3名以上を選任していた企業881社を対象に、2)稼ぐ力の指標として、非金融3期平均ROE10%以上¹、ROA5%以上、金融3期平均ROE10%以上、ROA2%以上、また3)社会への貢献度の指標として時価総額1,000億円以上である企業118社を選びました。

次に加点要素として、4)ガバナンス体制整備の指標として、特定の大株主がいない、開かれた株主比率(30%以下)、独立取締役比率(3分の1以上)、組織形態(指名委員会等設置会社)、指名・報酬委員会(任意も含む)の設置、5)取締役会の多様性、6)指名・報酬委員会(任意も含む)委員長の独立性、取締役会議長の執行からの独立性、7)パフォーマンス評価として、みさき投資による経営指標分析を活用、時価総額や営業利益の安定性などの総合評価を行い、Winner Company 3社を選出。

最後に8)審査委員によるトップマネジメントへのインタビュー調査を行い、Grand Prize Company 1社を決定しました。

候補企業群の経営力の判定には、みさき投資の企業分析の枠組み「みさきの黄金比[®]」を活用しました。これは経営指標間のあるべき関係、「 $ROE \geq ROIC \geq ROA \geq WACC$ 」を示した式で、左から「事業リスクに見合った財務リスクの取り方」「余剰資産を持たない経営」「資金提供者の期待リターンを上回る資本生産性」という観点を満たしているかを評価する枠組みです。

企業名	時価総額 (億円)	みさきの黄金比 [®]						
		ROE		ROIC		ROA		WACC
アドバンテスト	12,214	25.2	<	29.7	\geq	14.7	\geq	10.5
キリンHD	20,789	17.8	\geq	7.7	\geq	6.5	\geq	4.6
テルモ	30,996	14.0	\geq	9.5	\geq	7.7	\geq	6.4

※ みさき投資株式会社 『働く株主[®]』をコンセプトとしたエンゲージメント投資を専門とする資産運用会社。2013年に設立され、現在企業年金・大学基金など国内外の投資家から資金を受託し、日本の優れた上場企業10数社に厳選した長期投資を行っています。

審査委員会

委員長： 斉藤惇氏(日本野球機構会長・プロ野球組織コミッショナー)

委員： 井伊重之(産経新聞 論説委員)、伊藤邦雄氏(一橋大学 CFO 教育研究センター長)、太田洋氏(西村あさひ法律事務所パートナー弁護士)、富山和彦氏(当協会副会長、株式会社 経営共創基盤 代表取締役 CEO)、中神康議氏(みさき投資 株式会社 代表取締役社長)

¹ 伊藤レポート「持続的成長への競争力とインセンティブ～企業と投資家の望ましい関係構築」プロジェクト最終報告書(2014年8月)金融業はROAなど他の指標も考慮する。